

自己の在り方生き方を主体的に考え積極的に自己実現を図る力を育てる道徳教育活動の実践研究

～豊かな心をもった松城健児を育てる道徳教育の取組～

松城健児とは…「誠を尽くし、志をたて、必ず実行する」という松城精神を体現する村松高校生

授業「道徳を学ぶ時間」の試み

平成27年度1年生から授業「道徳を学ぶ時間」に取り組んでいます。

2年生 「働くことの意義を考える」

夏休みに2年生全員が地元企業等で体験するインターンシップをより有意義なものにするために、今井泉著「幸せを運ぶタクシー」(ダイヤモンド社)を資料として、働くことの意義を考えました。

第1回 客に四つ葉のクローバーをプレゼントしているタクシー運転手の仕事への考えとサービスを参考に、働くことの意義を考え、インターンシップに向けた行動目標を立てました。

第2回 夏休み中に体験したインターンシップでの自分の行動を振り返り、困難への対処の仕方、働く厳しさややりがいなどについて意見を交換しながら考えました。

生徒たちは1年生からの「道徳を学ぶ時間」とインターンシップでの体験から、働くことには厳しさだけでなく楽しさもあることに気付き、マナーや人間性、チームワークの大切さを実感することができました。



1年生 「よりよい人間関係を築くためには」

今年度の1年生は、DVD「考えてみようSNSやスマホとの付き合い方」(NPO新潟セキュリティ協会監修)を視聴し、生徒に身近なSNSを使ったコミュニケーションや情報発信をきっかけに、よりよい人間関係の築き方を考えました。

第1回 LINEやツイッターなどのコミュニケーションツールの利用時に、一方的な考えや働きかけが招く誤解により生じるトラブルについて、意見を交換しながら考えました。

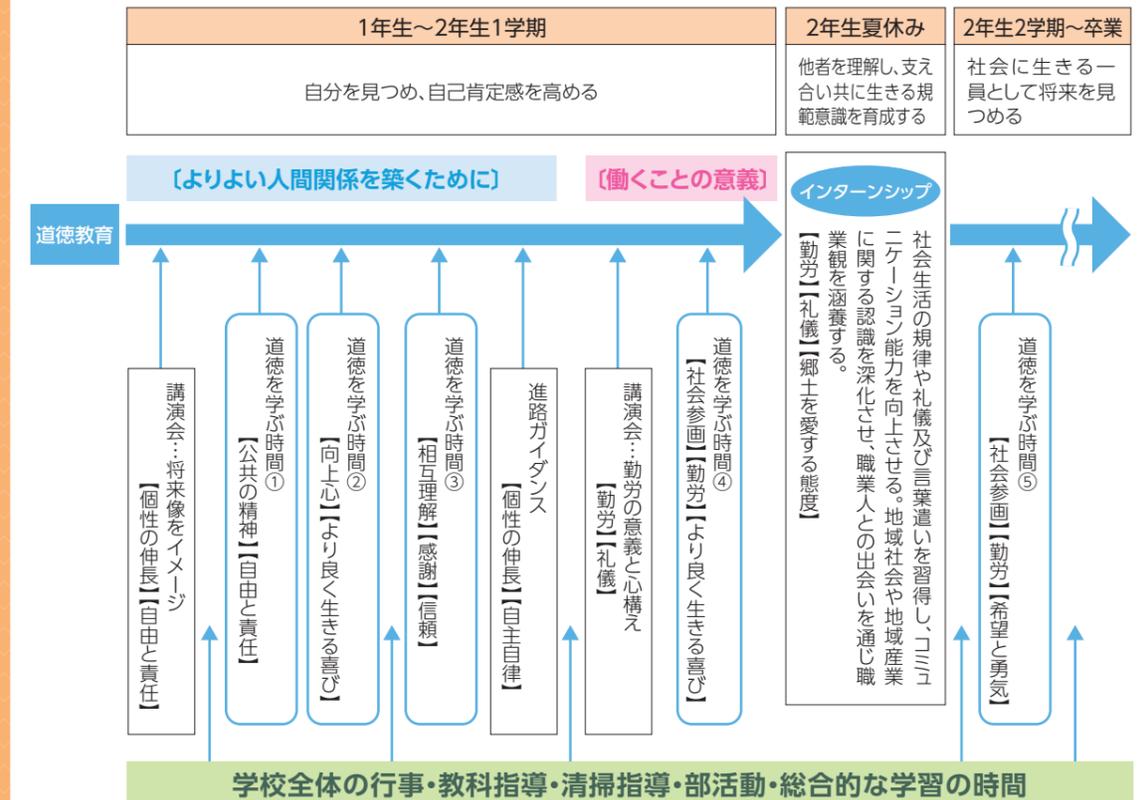
第2回 オンラインゲームのトラブルやワンクリック請求の対応と未然に防ぐためのルール作りなどについて意見交換しながら考えました。

第3回 個人情報を守るためのルール作りや、人間関係を築く中で生じたストレスを解消する手段について考えました。



高等学校における道徳教育のポイント

人間としての在り方生き方を考えさせる重要な機会である**インターンシップ**を中心に、高校生活を大きく3つの期間と捉え、当校の様々な教育活動の中で行われている道徳教育のねらいや内容を整理し、**村松高校道徳教育カレンダー**を作成しました。(イメージ図)



豊かな心をもった松城健児

道徳教育の軸に向かって、各教科、行事、特別活動や総合的な学習の時間等で行う活動が働いて、3年間をかけて**豊かな心をもった松城健児**を育成します。

生徒の変容

2年生インターンシップ受入事業所からの評価

○生徒の取組が「よかった」と回答した事業所の割合
*事業所からの評価も昨年度より高くなり、積極的な取組ができた生徒が多かったと考えられます。

	平成27年度 38事業所	→	平成28年度 35事業所
態度	78%	→	91%
協調性	58%	→	82%
積極性	58%	→	88%
挨拶	87%	→	88%

1年生アンケート結果

○「道徳を学ぶ時間」の授業を受けて、「生き方」や「考え」に変化はありましたか
*7割の生徒が「あった」と答えています。

	あった	あまりない	ほとんどない
	69%	16%	15%

<「あった」の主な理由>

- ・自分の考え方や行動だけでなく、相手のことも考えて行動するようになった。
- ・前より物事を慎重に考えられるようになった。
- ・家族とルールなどについて話し合うようになった。等

★ 推進校からのメッセージ

当校ではキャリア教育と関連付けた道徳教育を展開してきました。授業「道徳を学ぶ時間」では1年生で「よりよい人間関係を築くために」、2年生では「働くことの意義」をテーマに取り組んだことで、自己の在り方生き方を考え、自己実現に向けてより積極的にインターンシップ体験に取り組むことにつながったのではないかと考えられます。